



シンポジウム 「故郷・伊予の地域情報化の行方」

～21世紀の「坂の上の雲」を目指して～



— 第2部 —

2006年12月15日

松山市

夢があり、

誇れるまちづくりを目指した

「坂の上の雲」のまちづくり

はじめに

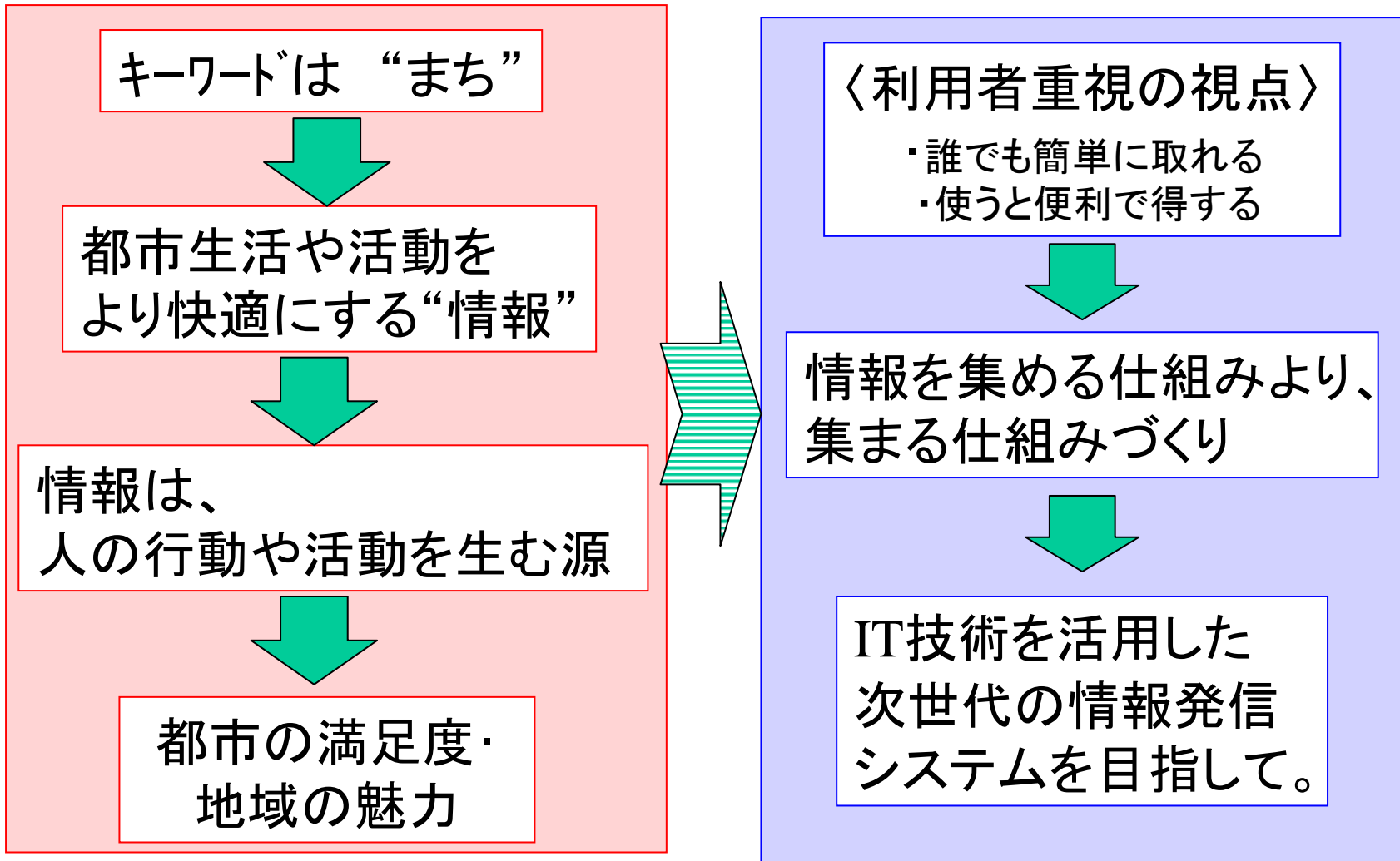
情報技術の発達は、社会生活を変革するポテンシャルを有しており、地域情報化は私たちの暮らしを、飛躍的に豊かに、便利に変えようとしています。

しかし一方で、地域情報化は裾野の広い取り組みですから、それを根付かせるためには、自治体側の努力に加え、活性化された地域コミュニティとの協調が不可欠となります。

そこで、今回のシンポジウムでは、中村時広市長の提唱する「坂の上の雲」のまちづくりにスポット・ライトをあて、「豊かな地域社会実現」のための地域情報化の方策や、情報技術を屈指した地域コミュニティの活性化の取り組みによる「市民力による、まちづくり」について、参加の皆さんと考えていきたいと思えます。

松山市の地域情報化の活用例

～ まちかど情報発信整備 ～



～ 情報発信端末のイメージ ～



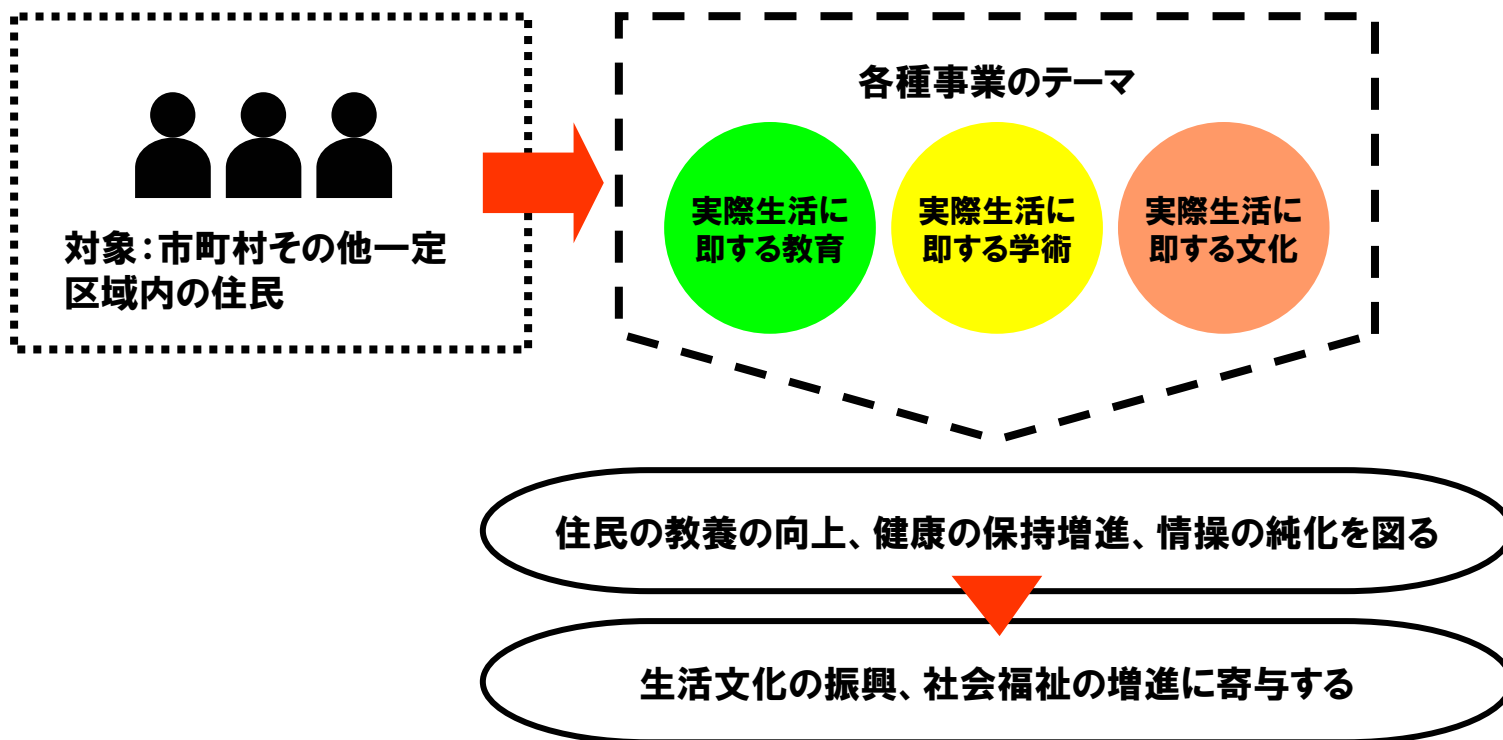
～ まちかど情報発信整備 ～

《本事業の特徴》

- 利用しやすい場所 ● → ～国の規制緩和制度の活用～
〈道路空間の新たな活用〉
- 民間情報の発信 ● → ～地方自立の地域再生～
〈民間開放を行う国の支援プロジェクト〉
- ユニバーサルな発信手段 ● → ～ITから紙面までの6つの手段～
〈6つの手段が相互に補完〉
- 公設民営のフルパワー ● → ～自前で運営する新たなビジネスモデル～
〈相互に補完しあう〉
- 地域に開放するプラットフォーム ● → ～地方自立の地域再生～
〈民間開放を行う国の支援プロジェクト〉
- 段階的な成長方式 ● → ～官から民へ・小から大へ～
〈民間開放を行う国の支援プロジェクト〉

公民館とは （社会教育法第20条）

公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、
实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、
もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、
生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。



公民館の設置状況

標準		専任
エリア	呼称	
公立	(全国 1万8千ヶ所)	
	市町村	中央公民館 ○
	区	地区公民館 ○
	学校区	校区公民館 △
	町内会	自治公民館 ×

松山市		専任
エリア	呼称・数	
公立	市	中央公民館 1館 ○
	おおむね 小学校区	(本館) 地区公民館 41館 ○
	町内会	(分館) 自治公民館 329館 △

松山方式と呼ばれる細やかな公民館網

公民館を取り巻く社会環境

- 地域コミュニティ(地縁社会)の崩壊
- 都市化(農村型から都市型)、核家族化
- 少子化、高齢化
- 価値観の多様化
(近所づきあいがわずらわしい・プライバシー)
- 社会構造の変化
(市町村合併・指定管理者制度)

公民館の存続が危ぶまれている

スローガン

元気² 公民館

元気×元気 公民館

公民館の元気倍増を目指します。

テーマ

1 楽しい公民館

「みんなで集まる」

様々な価値観をもつ人たちが
気軽に「集える」公民館づくり

2 ためになる公民館

「みんなで学ぶ」

社会教育講座、地域資源講座など
「学べる」公民館づくり

3 あってよかった公民館

「みんなで支える」

災害時などに地域の互助機能を
発揮する「助け合う」公民館づくり

4 みんなの公民館

「みんなでつなぐ、広げる、活かす」

住民による住民のための公民館
活動のための環境整備を行い、
「自立する」公民館づくり

**地域情報化社会が
すべてを解決してくれるか？
バーチャル社会と
リアリティ社会のちがい**

キーワードは「C」

① **C**ommunication (コミュニケーション)

人と人がつながる

② **C**ommunity (コミュニティ)

地域社会・共同体

③ **C**itizen (シチズン)

市民・住民・公民

この3つの「C」は、

- ・人と人をつなぐ**
- ・地域社会を活性化させる**
- ・市民力を高める**

I C Tと公民館の共通目標

「ICT」と「公民館」によって実現する 地域コミュニティ活性化手法

- ① 情報発信・情報提供
- ② 多様なコミュニケーション環境の整備
- ③ 自立型経営のための新たな収益確保
- ④ 安心・安全な地域づくり
- ⑤ 新たな学社連携
- ⑥ 地域に愛着をもつ人づくり

とはいえ、

地域住民は、まだまだ

「横文字嫌い、アナログ好み」

これが、リアリティ社会

ICTを活用すれば、

「地域がこんなに良くなる」

という、わかりやすい

アプローチ(提案)は不可欠

そこで、

この松山において、

先人が大切に培ってきた公民館と

CAUAが有する人財やノウハウが

結合し、事を成し得る。

**それは、全国1万8千の
公民館にとってまさに、**

**「坂の上の青い天にかかる
一朶(いちだ)の白い雲」
になるであろう。**